

2006年3月期 第1四半期決算概要



NIPPON PAPER
GROUP

2005年 7月28日

株式会社日本製紙グループ本社



2006年3月期 第1四半期(2006/3/1Q) 決算

(2005年4月1日～2005年6月30日)

(1) 業界動向

(2) グループ トピックス

(3) 連結業績

(4) 連結業績見通し

(2005年4月1日～2006年3月31日)

(5) その他

紙パ業界

2005年4月－2005年6月品種別国内出荷高

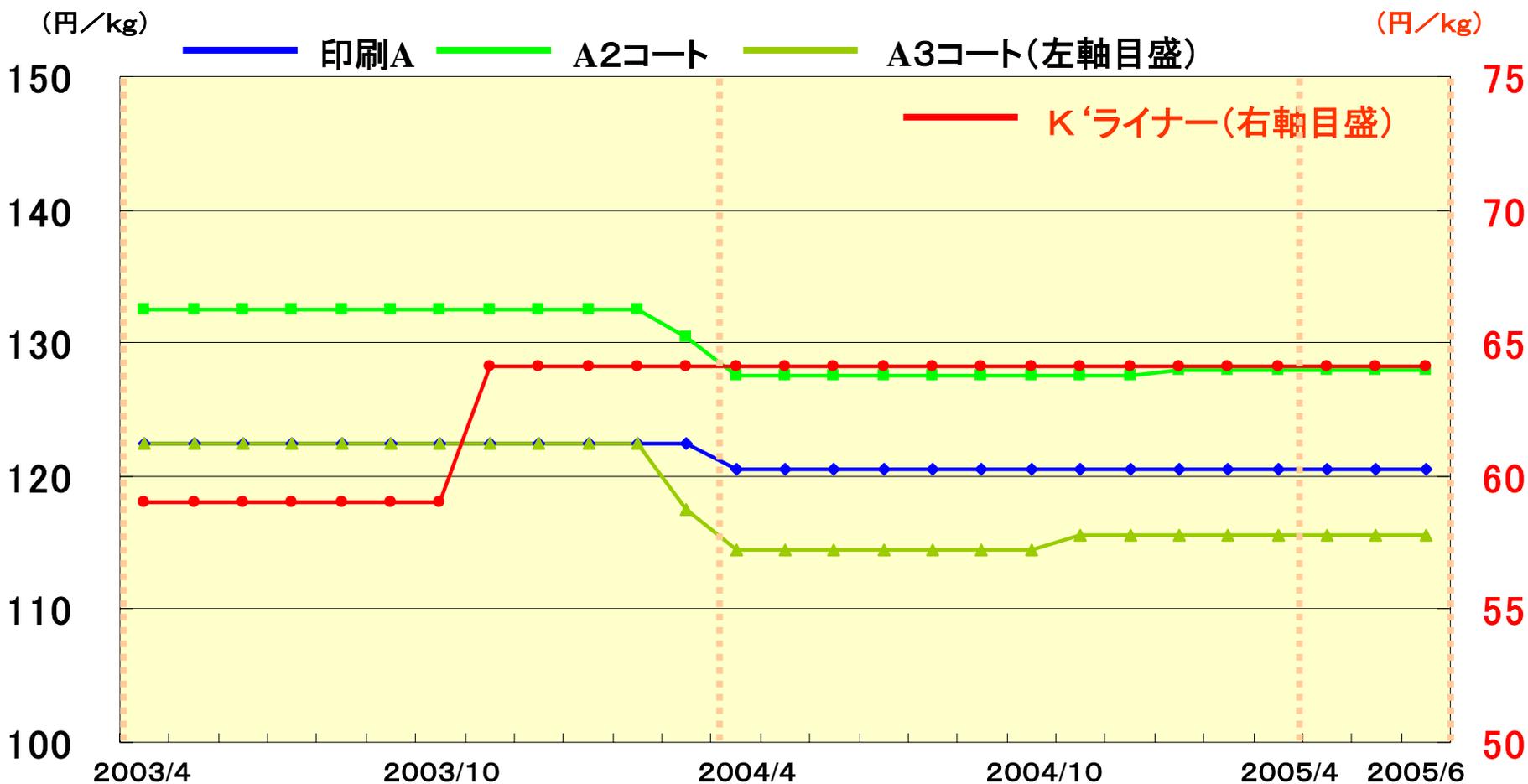
	国内出荷高(千トン)	前年比
新聞巻取紙	860	2.1%
非塗工印刷用紙	640	▲1.6%
塗工印刷用紙 ※	1,516	2.3%
情報用紙	403	0.9%
その他の紙(包装・衛生・雑種紙等)	995	0.6%
紙計	4,414	1.2%
板紙計	2,968	0.1%
紙・板紙計	7,383	0.7%

※ 塗工印刷には微塗工紙を含む。 出所：日本製紙連合会

●(1) 業界動向 ② 売価推移

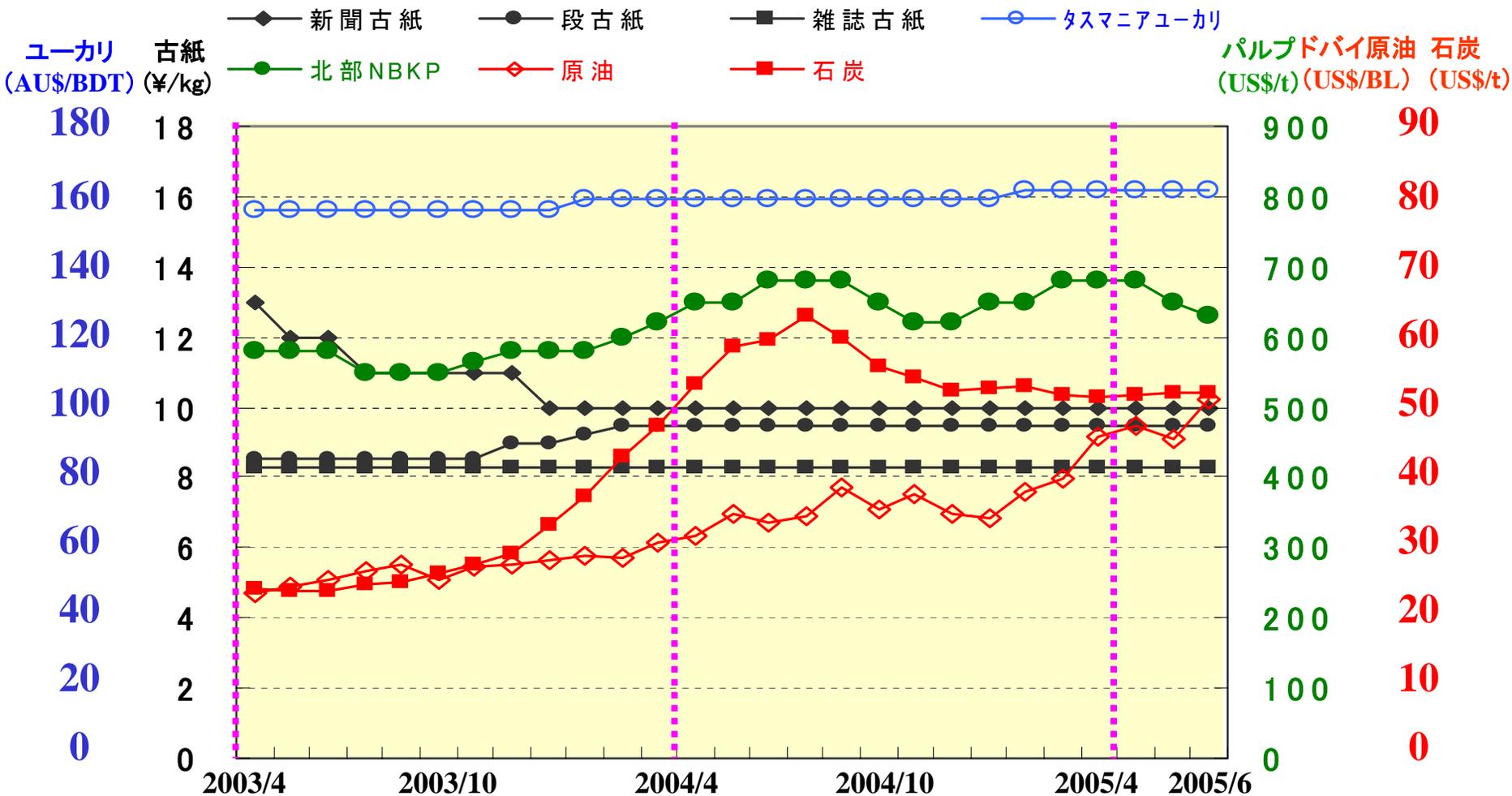
紙パ業界

洋紙・板紙の価格動向(2003年4月~2005年6月)



紙パ業界

主要原燃料の価格動向(2003年4月~2005年6月)



出所: 古紙再生促進センター、Pulp&Paper Week、

原油=Platts、石炭=Barlow Jonker Index

第1四半期のトピックス

2005年 4月 : 日本製紙の鈴川工場と富士工場を統合
(新名称: 日本製紙富士工場)
: 中国華北における洋紙合弁事業からの撤退を決定

5月 : 「グループビジョン2015」発表

6月 : 日本製紙が欧州事務所の開設を発表
: 日板パッケージ(株)とトーカンパッケージングシステム(株)
(東罐興業(株)子会社)が合併契約書を締結
(新会社名: 日本トーカンパッケージ(株))
: 新経営体制発足

会社	事業所	主要設備投資	投資 (億円)	完工
日本製紙	岩沼	H-DIPライン増設	18	'05/ 4月

(3) 連結業績①概要

連結業績

(単位:億円)	2005/3月期 第1四半期	2006/3月期 第1四半期	差異
<売上高>	2,955	2,862	▲ 93
<営業利益>	159	153	▲ 6
<経常利益>	153	158	5
<当期純利益>	103	▲ 15	▲ 118

(3) 連結業績②洋紙・板紙販売実績

(千トン)	2005/3/1Q (A)	2006/3/1Q (B)	前年比 (B) ÷ (A)
新聞用紙	334	333	▲0.3%
非塗工紙	187	185	▲1.2%
塗工紙	463	483	4.3%
情報用紙	168	182	7.9%
包装・雑種紙他	170	150	▲11.3%
国内洋紙計	1,322	1,333	0.8%
洋紙輸出(新聞用紙含む)	118	106	▲9.9%
洋紙合計	1,439	1,438	▲0.1%
段ボール原紙	351	350	▲0.3%
紙器用板紙他	102	101	▲1.0%
国内板紙計	453	451	▲0.4%
板紙輸出	9	8	▲11.4%
板紙合計	462	459	▲0.6%
紙・板紙合計	1,901	1,897	▲0.2%

(3) 連結業績③セグメント別業績

(億円)

	売上高		営業利益		コメント(前年比較)
	2005/3 1Q	2006/3 1Q	2005/3 1Q	2006/3 1Q	
紙パルプ事業 ※	2,184	2,121	116	116	洋紙: 塗工紙中心に販売堅調 板紙: 販売量はほぼ前年同期並 家庭紙: 依然厳しい競争が続く
紙関連事業 (紙容器、化成品等)	320	308	20	20	
木材・建材・土木 関連事業	240	223	6	5	
その他の事業 ※ (飲料、物流等)	212	210	18	12	
合 計	2,955	2,862	159	153	

※前期実績は電力供給事業を「紙パルプ事業」から「その他の事業」に組み替えて表示

(3) 連結業績④ 貸借対照表

(億円)

貸借対照表

	'05/3末	'05/6末	差異	コメント
現預金	183	122	▲ 62	
受取手形・売掛金	2,479	2,739	260	
棚卸資産	1,318	1,367	48	
その他流動資産	451	646	195	
有形・無形固定資産	8,856	8,748	▲ 107	設備投資163億、減価償却▲175億 減損会計適用▲88億 他
投資その他資産	2,012	2,019	7	
資産計	15,300	15,642	343	
有利子負債	7,661	8,021	359	債権売却減、配当金支払等
その他負債	2,973	3,005	32	
少数株主持分	236	235	▲ 1	
株主資本	4,429	4,381	▲ 48	配当金▲44億、四半期純損失▲15億 他

●(3) 連結業績⑤ キャッシュ・フロー

(単位:億円)

項目	2006/3/1Q	コメント
営業活動によるCF	▲ 259	
税金等調整前当期純利益	29	
減価償却費	175	
運転資金増減	▲ 301	① 債権売却高減少
その他	▲ 162	
投資活動によるCF	▲ 114	
固定資産取得	▲ 123	② 設備投資は減価償却費以下に抑制
固定資産の売却	6	
その他	3	
フリーCF	▲ 373	
財務活動によるCF	310	
有利子負債増減	359	
支払配当金	▲ 45	
その他	▲ 4	
連結範囲変更・為替換算差等	1	
現金及び現金同等物期首残高	182	
現金及び現金同等物期末残高	120	

● (4) 連結業績見通し①概要

下期の重油価格・為替の前提を見直し、見通しを修正

(単位:億円)	2006/3月期 当初見通し	2006/3月期 修正見通し	2006/3月期 中間期見通し
<売上高>	11,800	11,800	5,900
<営業利益>	710	650	320
<経常利益>	700	640	320
<当期純利益>	210	170	30

前提条件の見直し

●上期

当初見通しから変更なし

●下期

ドバイ原油価格 51 \$ / バレル

(当初見通し40 \$ / バレル)

為替:米ドル 110円 / US \$

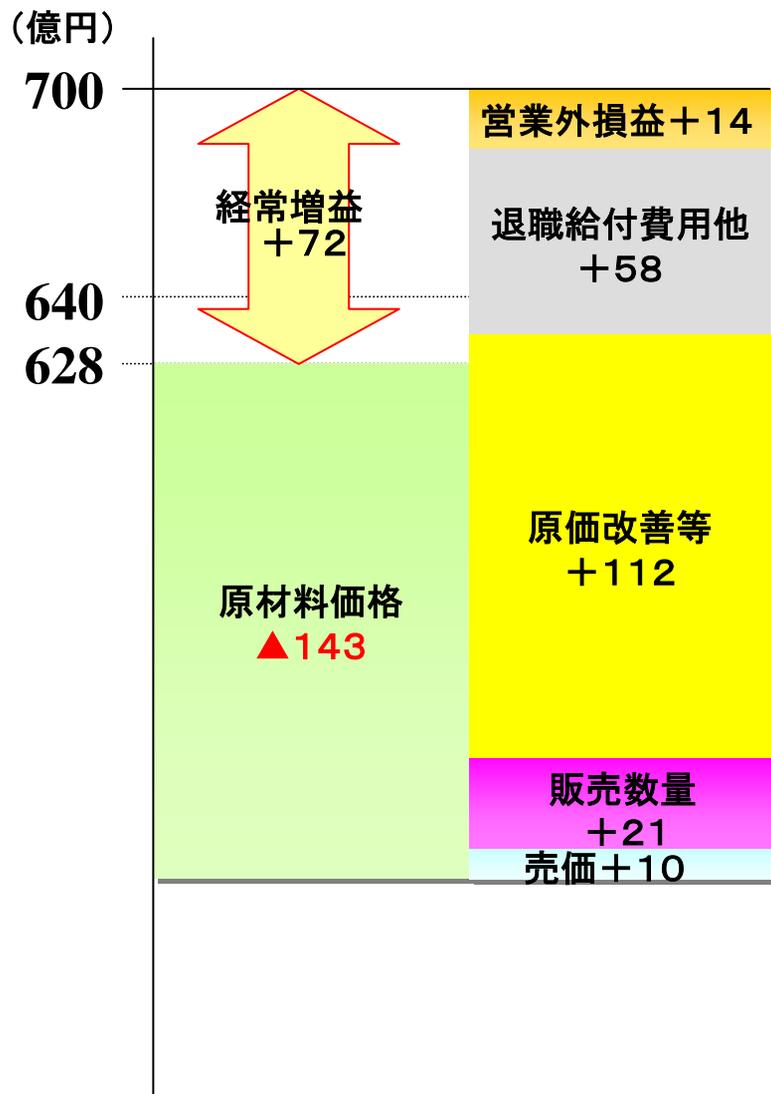
(当初見通し107円 / US \$)

豪ドル 84円 / AU \$

(当初見通し 82円 / AU \$)

●(4) 連結業績見通し③増減益分析

<当初計画>



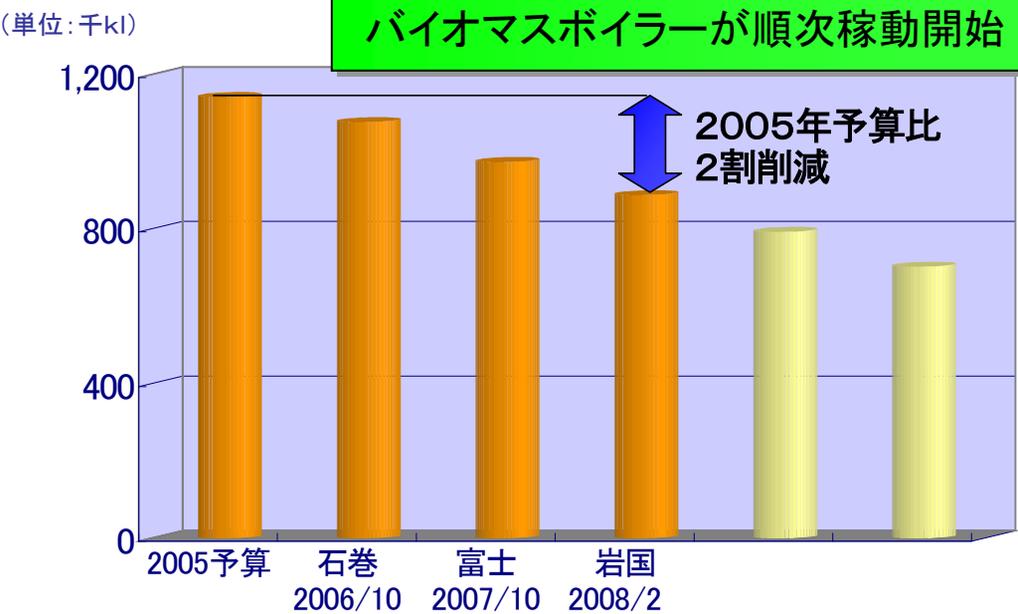
<前提見直し>



重油使用量削減施策：バイオマスボイラーの導入

会社	事業所	投資額 (億円)	稼動時期
日本大昭和板紙	東北	43	2003年10月
日本製紙	勿来	38	2004年10月
	石巻	53	2006年10月(計画)
	富士	64	2007年10月(計画)
	岩国	90	2008年2月(計画)

バイオマスボイラーが順次稼動開始



(日本製紙勿来工場の木くずボイラー)

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。
また当資料の無断掲載はこれを禁じます。

(株)日本製紙グループ本社